

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	敬和学園大学
設置者名	学校法人 敬和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人文学部	英語文化コミュニケーション学科	夜・通信						
	国際文化学科	夜・通信		72		72	13	
	共生社会学科	夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページの情報公開コーナー(各種情報公開【大学等における修学の支援に関する法律に基づく情報公開】)に掲載 http://www.keiwa-c.ac.jp/wp2021/wp-content/uploads/2022/06/jitsumukyoin.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	敬和学園大学
設置者名	学校法人 敬和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページの情報公開コーナー(各種情報公開【大学等における修学の支援に関する法律に基づく情報公開】)に掲載
<http://www.keiwa-c.ac.jp/about/info>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2021.4.1 ～ 2023.3.31	一般企業の経験から経営面へのアドバイス
非常勤	日本基督教団牧師	2021.4.1 ～ 2023.3.31	建学の精神に基づく 教学面での意見、指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	敬和学園大学
設置者名	学校法人 敬和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各授業担当教員に対して、web系学生支援システム「GAKUEN UNIVERSAL PASSPORT」を利用した作成を依頼。12～1月にかけて作成、2～3月にかけてFD/カリキュラム委員会による第三者チェックを経た上で修正依頼、4月より公表。	
授業計画書の公表方法	本学webシステムにより公表 http://srv.keiwa-c.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに評価の方法を明記の上、なおかつ、成績分布表を成績評価前に配布して適正な評価を促している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 100～90点を4ポイント、89～80点を3ポイント、79～70点を2ポイント、69～60点を1ポイント、59～0点を0ポイントとし、それぞれのポイントに、該当する修得単位を掛けて算出した数値を足し合わせたものを分子、総履修単位数を分母としてGPAを算出し、学内順位の選定等に利用している。 なお、担当教員毎及び成績分布表を成績評価前に配布して適正な「評価を促している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本学学生便覧に掲載(本学教務課教務係に請求及びwebにて公開している)。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学部全体及び学科毎のディプロマ・ポリシーを定め公表すると共に、全体及び科目ごとの成績の分布状況を把握し、成績の分布状況が適正でない科目の担当教員に対しては、是正を促している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校便覧及び大学のホームページの情報公開コーナーに掲載 http://www.keiwa-c.ac.jp/guide/openinfo/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	敬和学園大学
設置者名	学校法人 敬和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内 > 基本情報・決算・監査報告)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内 > 基本情報・決算・監査報告)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info
財産目録	大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内 > 基本情報・決算・監査報告)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info
事業報告書	大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内 > 基本情報・決算・監査報告)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info
監事による監査報告(書)	大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内 > 基本情報・決算・監査報告)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内> 基本情報・情報公開> 情報公開> 内部品質保証に関する情報公開)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info/assurance/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページの情報公開コーナー(大学案内> 基本情報・情報公開> 情報公開> 内部品質保証に関する情報公開)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info/assurance/
--

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的（公表方法：大学のホームページの情報公開コーナー(大学案内＞教育理念・方針・取り組み)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/policy)
（概要）「隣人に仕えるための地域社会への貢献として、持続可能な社会の担い手を育成する」
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学のホームページの情報公開コーナー(大学案内＞教育理念・方針・取り組み)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/policy)
<p>（概要）敬和学園大学では、建学の精神および教育理念に基づき、以下の方針及び各学科の学位授与方針に定める基準に達して所定の卒業要件を満たした学生に、学士の学位を授与します。</p> <p>①人権と人間の尊厳の原理を尊重する姿勢と心理を希求する姿勢を身につけている。（基礎知識）</p> <p>②グローバルな視点を持ち、分析的・批判的に考えて判断し、明瞭かつ効果的に表現することができる。（専門知識、論理的思考、批判的思考）</p> <p>③対話とコミュニケーションを重んじ、隣人に仕えることができる。（コミュニケーション能力）</p> <p>④高い倫理基準を持ち、地域社会に貢献することができる。（社会との関係）</p> <p>上記の他に、学科ごとにディプロマ・ポリシーを定めている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学のホームページの情報公開コーナー（大学案内＞教育理念・方針・取り組み）に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/policy ）
<p>（概要）敬和学園大学では、教育理念を実現するために、次のような方針でカリキュラムを組んでいます。</p> <p>①キリスト教に基づいたリベラル・アーツ教育により、人権と人間の尊厳を尊重する態度と教養を養う。（基礎知識）</p> <p>②異なる文化について複眼的に見ることができ、分析的・批判的に考えて判断し、明瞭かつ効果的に表現する力を養う。（専門知識、論理的思考、批判的思考）</p> <p>③日本語と外国語を用いて、人とのコミュニケーションを豊かにする能力、さらに、情報リテラシーを身につけて、社会と対話する情報の受発信を行う能力を養う。（コミュニケーション能力）</p> <p>④地域や国際社会の課題について理解を深め、インターンシップ等を通して社会に貢献する力を養う。（社会との関係）</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学のホームページの情報公開コーナー(大学案内＞教育理念・方針・取り組み)に掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/policy)
<p>（概要）敬和学園大学では、次のような学生を求めています。</p> <p>①グローバルな視点に立って考え、対話とコミュニケーションとボランティア精神を重視する、国際的教養人を目指す人。</p> <p>②敬和学園大学における学びを通じて、「人間とは何か、人生をいかに生きるか」を考える意欲を持つ人。</p> <p>③真理と自由を探求する意欲があり、人の役に立ちたいと考える人。</p> <p>上記の他に、学科毎にアドミッションポリシーを定めている。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学のホームページの情報公開コーナー(大学案内＞教育理念・方針・取り組み)に掲載 <https://www.keiwa-c.ac.jp/about/policy>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
人文学部	－	14人	10人	4人	1人	人	29人
	－	人	人	人	人	人	人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		65人					65人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：http://www.keiwa-c.ac.jp/academic/faculty/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	180人	165人	92%	720人	744人	103%	若干人	8人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	180人	165人	92%	720人	744人	103%	若干人	8人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部	151人 (100%)	1人 (0.7%)	114人 (75.5%)	36人 (23.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	151人 (100%)	1人 (0.7%)	114人 (75.5%)	36人 (23.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスにおいて、授業の方法及び内容、年間の講義計画を明示している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 本学学生便覧に記載				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学科	英語文化コミュニケーション	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1 学期 24 単位
	国際文化	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1 学期 24 単位
	共生社会	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1 学期 24 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法:大学ホームページの情報公開コーナーに掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/campus/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人文学部	英語コミュニケーション	690,000 円	230,000 円	290,000 円	
	国際文化				
	共生社会				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）数学のリメディアルクラスを設置、また、日本語運用能力を向上した方が良い外国人留学生に対して学習補助TAを付けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）キャリアサポート課を設置し、キャリア支援の授業、資格取得等を支援する各種支援講座の開講、公務員採用試験対策講座の開講、インターンシップの紹介、個別指導、学内合同説明会等を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生支援センターを設置し、ソーシャル・ワーカー、カウンセラー、保健師が連携し、学生の対人関係等の悩み事その他、心身の病気・障害に関する相談に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページの情報公開コーナーに掲載 https://www.keiwa-c.ac.jp/about/info/educationlaw/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F115310105168
学校名	敬和学園大学
設置者名	学校法人 敬和学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		97人	98人	103人
内 訳	第Ⅰ区分	50人	49人	
	第Ⅱ区分	25人	33人	
	第Ⅲ区分	22人	16人	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				103人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	—	前半期		後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。